



**CE**×Rethink

CE× Rethink 事例集

RETHINK

DESIGNERS REPORT

価値共創から紡ぐサーキュラーエコノミー



2024

# INDEX

| 01 なぜサーキュラーエコノミーが注目されているのか                  | 02 |
|---|----|
| 02 本調査におけるResearch Question                 | 04 |
| 03 Rethink Designers Projects               | 06 |
| CASE 1: 廃プラスチックからアップサイクルされた<br>サステナブルなアイウェア | 06 |
| CASE 2: 傘シェアリングサービス「チョイカサ」                  | 08 |
| CASE 3: Osaka Metroクリエイト 廃車再生プロジェクト         | 10 |
| CASE 4: Recycling Meets Design® Project     | 12 |
| CASE 5: 環境に配慮した取り組みRideeco                  | 14 |
| CASE 6: 医薬品包装「PTPシート」のマテリアルリサイクル            | 16 |
| CASE 7: ラベル台紙の水平リサイクル「資源循環プロジェクト」           | 18 |
| CASE 8: HOTAMET ホタテの殻から生まれたヘルメット            | 20 |
| CASE 9:「で、おわらせないPROJECT」                    | 22 |
| CASE10: Circular Economy Hub                | 24 |
| CASE11: crQlr Awards                        | 26 |
| CASE12: CIRCULAR DESIGN STUDIO.             | 28 |
| CASE13: MEGURU STATION®                     | 30 |
| CASE14: ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアム               | 32 |
| CASE15: 亀岡市の取組から生まれたHOZUBAG Project         | 34 |
| 04 プレイベント「Rethink Designers Meetup          |    |
| ~価値共創から紡ぐサーキュラーエコノミーの輪~」                    | 36 |
| 本調査でお世話になった企業・団体・自治体の皆様                     | 42 |

#### 01 なぜサーキュラーエコノミーが注目されているのか

近年、廃棄物問題や気候変動問題等の環境制約に加え、世界的な資源需要と地政学的なリスクの高まりといった資源制約の観点から、資源に繰り返し価値を与え循環させるサーキュラーエコノミー(CE)への移行が喫緊の課題となっている。

そこで、経済産業省では、CEへの移行による資源自律経済(※)の確立と国際競争力の獲得を目指し、経済産業政策の新機軸の一つとして、2023年3月に「成長志向型の資源自律経済戦略」を策定した。

同戦略においては、①規制・ルールの整備、②政策支援の拡充、③産官学連携の強化、の3本柱で、政策措置をパッケージ化して、日本におけるCEの市場化を加速し、成長志向型の資源自律経済の確立を通じて国際競争力の獲得と地方を含めた新たな成長を目指していく方針を打ち出している。

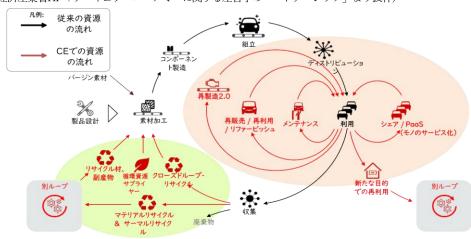
同戦略に基づくアクションの一つとして、サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ「サーキュラーバートナーズ」を立ち上げた。CE実現には、個社の取組だけでは経済合理性を確保することが難しく、日本の高度な技術力を活かしながら、組織の枠を超えた関係主体による有機的な連携("価値共創"と"情報連携")が必須となるという認識のもと始動し、CEの実現に必要となる施策に関する検討を加速度的に進めている。

(※)国際的な供給途絶リスクを可能な限りコントロールし、国内の資源循環システムの自律化・強靱化を図るとともに、国際競争力の獲得を通じて持続的かつ着実な成長を実現する経済

#### 【サーキュラーエコノミーとは】

廃棄物問題や気候変動問題等の環境制約に加え、世界的な資源需要と地政学的なリスクの高まりといった資源制約の観点から、資源の効率的・循環的な利用を図りつつ、付加価値の最大化を図る循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行が喫緊の課題となっている。

(経済産業省HP「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ」より抜粋)



(出所) 経済産業省「循環経済ビジョン2020」より抜粋

#### 【成長志向型の資源自律経済戦略とは】

「成長志向型の資源自律経済戦略」では、①競争環境整備(規制・ルール)、②CEツールキット(政策支援)、③CEパートナーシップ(産官学連携)の3つのギアのもと展開を進めている。

# ギア① 競争環境整備 (規制・ルール)

# 対応

- 「資源循環経済小委員会」 を新設
- 動静脈連携の加速に向けた 制度整備に着手

※循環配慮設計の拡充・強化等

#### ギア② CEツールキット (政策支援)



# 対応

- GX先行投資支援策の活用
- 「資源循環分野において、 今後10年間で約2兆円~の 投資」の実現

※資源循環分野:3年で300億円

#### ギア③ CEパートナーシップ (産官学連携)



# 対応

- 「サーキュラーエコノミー に関する産官学のパート ナーシップ」を新設
- 関係主体の連携を通じて、 CEの実現に必要となる施策 を検討

(出所)経済産業省「成長志向型の資源自律経済戦略」より再編加工

本調査においては、「ギア③CEパートナーシップ(産官学連携)」における対応として挙げられている「関係主体の連携を通じて、CEの実現に必要となる施策を検討」を念頭に調査を実施してきた。具体的な調査の流れは次ページを参照。

03 —

#### 02 本調査におけるResearch Question

#### [Research Question]

本調査では、「サーキュラーエコノミー(CE)に資するプロジェクトを牽引、デザインする プレイヤー(以後「Rethink Designer」とする)」に着目し、以下の問い(Research Question)を 設定し、調査を進めてきた。

- そもそもCEを実現するためのデザインとは、どういう行動を指すのか。
- 組織の枠を超えた価値共創が求められるCEにて、プロジェクトをデザインし、継続するうえで、どのような課題やニーズがあるか。
- 彼ら/彼女らがCEを通じて、どのような価値をつくり、誰にどのように届けているのか。

#### ~Rethink Designer~

CEとは廃棄を出さない仕組みづくり。従来、廃棄・焼却されていたものを活かすように、新たな価値として資源を循環させる状態・アクションとも捉えられる。新たな価値循環の実現にあたって、個社のリソースだけでは経済合理性を担保できず、資源循環における「動静脈連携」を基本とした、有機的な連携(共創)が必須である。

本調査で着目するRethink Designerは、すべてを資源と捉えなおし(Rethink)、 「ものづくり(技術力)」と「ものがたり(ストーリー)」の要素を戦略的にデザイン することで、企業・環境・地域・社会に新たな価値を生み出し続ける存在である。

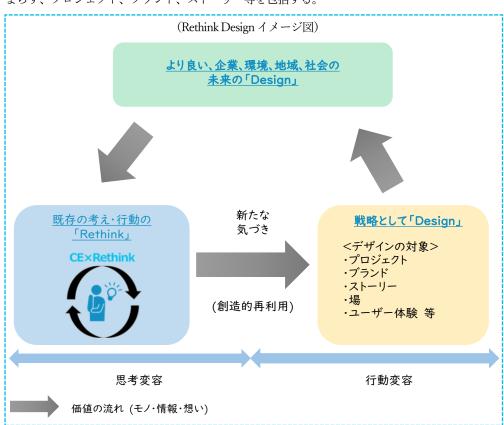
#### 【Research Questionを明らかにするための、本調査での歩み】

- 1. Rethinkを起点に、資源循環を通じた新たな付加価値を見出しているプロジェクトへの ヒアリング(事例研究)
- 2. 「Rethink Designers Meetup~価値共創から紡ぐサーキュラーエコノミーの輪~」の開催
- 3. Rethink DesignからCEを紐解く PR冊子 「Rethink Designers Report 価値共創から紡ぐサーキュラーエコノミー」の発行

#### 【CEを実現するためのデザイン「Rethink Design」とは】

資源のRethinkを起点に、ものづくりとものがたりの要素を戦略的に設計し、実践することで、新たな価値を生み出し、循環するエコシステム。海洋プラスチックゴミ問題・廃棄物処理等既存の考え方に捉われずにRethinkし、新たな気付きを得て創造的再利用に向けたDesignを行う。

デザインの対象は、見た目としてのデザインであるプロダクト、ロゴマーク、パッケージに留まらず、プロジェクト、ブランド、ストーリー等を包括する。



# 【Rethink Designerによるプロジェクト】

Rethink Designerが携わってきたプロジェクトの事例を次ページ以降に紹介する。

事例紹介では、プロジェクトの紹介とともに、彼ら/彼女らがCEを通じて、どのような価値を作り、誰にどのように届けているのかも明らかにしている。また、組織の枠を超えて、ともに共創するプレイヤーについても紹介する。

#### 廃プラスチックからアップサイクルされたサステナブルなアイウェア



#### Features : 目薬容器がサングラスに、社内起業家プロジェクトから生まれた「eyeforthree」

ロート製薬の社内起業家支援プロジェクト「明日ニハ」の第1期プロジェクトに長岡里 奈氏のアイデアが採択され、商品化に着手。パートナー企業と共に開発を進め、アイウェ ア「eyeforthree (アイフォースリー)」をリリースした。

目薬ボトルに求められる高い製造基準により廃棄ボトルが多くでていることを知った長 岡氏はそれをもったいないと感じ、その廃プラスチックを有効活用して世界の人の健康に つながる取り組みができないかと思ったのがきっかけ。ボトル成形時にでる端材や不良品 を回収し、再生PET樹脂化し、目を護るサングラスのフレームへとアップサイクルした。 資源循環させるため、混ぜ物や着色・塗装はせず、素材の色を活かした100%リサイクルに もこだわった。

#### Innovation: 目を護るをコンセプトにラインナップを拡大、世界の「健康問題」にも貢献

2022年10月に、99%UVカットレンズを使い、サングラスとブルーライトカット眼鏡を商 品化。翌年9月には、読書用の眼鏡型拡大鏡も加わり、商品ラインアップも拡大。現在、 ECサイト、関西や首都圏の百貨店・専門店などで取り扱わられている。

また、売上の10%にあたる収益をインドやその他諸国の貧困層の眼科健診や白内障の手 術を行う団体への支援にあてている。

#### Future : より多くの人びとの手に届けるために、アイウェア周りのアクセサリーへと展開

今後は、認知度を上げ広がりを持たせるため、アイウェア周りのメガネチェーン等のア クセサリーや眼鏡ケースも、廃プラスチックを利活用して作っていきたいと考えている。

『世界の健康問題と廃プラ問題を解決したい』自身のインドでの体験が開発の原 動力となり、パートナー企業の力を動員しながら、価値をつくり、届ける。

#### Find VALUE ~みつける~

学生時代のインドで直面した貧困層の健康問題、そして、ロート製薬で直面した廃プラ スチック問題。廃プラスチックを有効活用して世界の人の健康につながる取り組みがで きないかと考えた。紫外線から目を護り、白内障の予防につながるサングラスづくりへ とつながった。

#### Create VALUE ~つくる~

原材料開発は、リサイクル技術のノウハウを有する本多プラス株式会社と廃棄される容 器や製造工程で生まれる端材をサングラスの原材料(再生PET樹脂)に加工。サングラ スの製造は、高い技術力を有する山本光学株式会社が担い、2年以上の年月をかけて、長 岡氏のアイデアを具現化していった。

#### Share VALUE ~つたえる~

パッケージは、株式会社アクト石原が担当。本製品でも説明書をなくし、直接パッケー ジに印刷するとともに、緩衝材なしで輸送に耐えられるよう設計するなど、ゴミをださ ないサスティナブルなコンセプトでパッケージング。「eyeforthree」に共感してくれるユ ーザーに受け入れられている。



(UVカット機能のある目薬ボトル)



(異物を取り除き、細かく粉砕)



(サスティナブルなパッケージ)

#### Player

アイウェア「eveforthree」の企画・開発・販売。長岡氏が代表社 アイフォースリー合同会社 員を務める

リサイクル技術のノウハウで、原材料(再生PET樹脂)への加 本多プラス株式会社 工・製造

リサイクル素材での高い加工技術でサングラスを製造 山本光学株式会社

廃棄物を一切ださない工場を運営する包装資材メーカーでパッ 株式会社アクト石原

ケージを共同開発

社内起業家支援プロジェクト「明日ニハ」を運営。アイフォー ロート製薬株式会社

スリー合同会社にも出資。

#### 傘シェアリングサービス「チョイカサ」



#### Features : 雨の日のちょっとした煩わしさの解消を目的に生まれたプロジェクト

チョイカサは、南海電鉄の社内ベンチャー制度を活用した、傘のシェアリングサービス。南海電鉄の社内の事業化支援プログラム「Fly beyond」から派生した、「傘を持ち歩かない」という快適をお届けするサービス。大阪府内の73ヶ所(最大89ヶ所)に傘スポットを設置し、雨の日のちょっとした煩わしさの解消を目的に、2020年10月~2023年7月末までサービスを展開してきた。梅雨時期など降雨予報がある季節に比べ、夕立やゲリラ豪雨など、にわか雨が多い晩夏~秋に多く利用いただいた。

# Innovation・Future: チョイカサの経験が生かされた「ENTAME-DIVER-CITY」・「Chokett(チョケット)」

チョイカサで提供してきた、傘のシェアリングサービスという一つのサービスだけでなく、まちづくり目線でより包括的に取り組みたいという想いから、南海電鉄が策定する大阪なんばエリアのまちづくりビジョン"ENTAME-DIVER-CITY"にチョイカサの経験が生かされている。チョイカサで取り組んだ「急な雨にも安心を提供する」といった視点を、一人一人の暮らし方を踏まえて多様なアプローチをしていくべきだという考え方から構想が生まれた。

"ENTAME-DIVER-CITY"では、各種コンテンツやまちのエンタメの力を高めていくことで、「わざわざ降りたくなるまち・場所」を目指す。具体的アクションとして、クリエイターインレジデンスプログラム「Chokett」の取組をスタート。街のあらゆる場所で、"ちょける"(関西の人々の気質を描写する方言の一つ。「ふざける、おどける」を意味する)を合言葉に、誰もが垣根なく一緒になって面白がれる街の使いこなし方を日々実験することにより、"ENTAME-DIVER-CITY"の実現を目指している。

傘をなくす度に購入する行動がもったいない点に 着目して生まれたプロジェクト

#### Find VALUE ~みつける~

傘を頻繁になくしてしまい、その度に傘を毎回買う行動がもったいない点に着目。 会社では、普段より沿線地域のまちづくりにも事業として取り組んでいることから、お客様に傘のシェアリングサービスを提供することで、「雨が降ったから帰ろう」ではなく、安心感を提供することができ、移動距離や滞在時間をのばすことにもつながる。

#### Create VALUE ~つくる~

チョイカサのサービス提供においては、傘スポットの日々のメンテナンス、中でも、色々なところに置かれている傘の偏りの調整や清掃が欠かせない業務となる。この業務は、NPO法人Homedoorにも協力いただきながら、実施してきた。チョイカサの趣旨に賛同していただいたワールドパーティーにはクオリティの高い傘を提供いただいたり、JTBから旅行者にサービスを紹介いただくなど、多様なプレイヤーとともに取り組んできた。

#### Share VALUE ~つたえる~

SNS(Facebook、Instagramなど)のアカウントを開設し、情報発信をするとともに、公共施設や南海電鉄線駅構内にて情報発信に取り組んできた。

また、主要駅でのサービスPRイベントを行ったり、街中でプロモーション撮影も行った。





(チョイカサ 堺駅設置の様子)

(Chokettのメンバー)

# Player

南海電気鉄道(株)

チョイカサ、ENTAME-DIVER-CITY、Chokettの企画・運営

(株) ワールドパーティー

【チョイカサ】専用傘の開発協力および提供

(株) JTB

【チョイカサ】旅行者向けへのサービス導入・情報提供

NPO法人Homedoor

【チョイカサ】傘スポットの巡回・清掃

様々なジャンルのクリエイターの方々

【Chokett】街の人たちと関わりながらエンタメを育むプレイヤー

- 08



#### Osaka Metroクリエイト 廃車再牛プロジェクト



Features : クリエイター、ものづくり事業者、そこにOsaka Metroが加わり、 三位一体となって、ユーザーに向けた新しい価値を創出

Osaka Metroクリエイトはビジョンとして「アイデアが集まる。ミライ輝くステキなモノづくりの発信地」を掲げるものづくり共創事業。その一つ「廃車再生プロジェクト」は、40年近くに亘り活躍してきた地下鉄車両を、引退後もより多くの方々に親しまれ活躍してもらいたいとの思いから企画した。Osaka Metroと、大阪を中心としたクリエイター、ものづくり事業者との共創により、生まれ変わった新たな商品をOsaka Metroクリエイトのブランディングサイトで発信し、ECサイトやイベントを通じて販売を行う。

#### Innovation: Osaka Metroのアピールだけでなく、事業者の商品力の向上にも寄与

2022年以降、インテリア用品からバッグ等の服飾雑貨など、約20アイテムに及ぶ商品を開発。プロジェクト自体、テレビや新聞等のマスメディアに取り上げられる機会も多く、Osaka Metroの取り組み姿勢のアピールにつながっている。

また、ものづくり事業者にとっても、Osaka Metroと一緒にSDGsの取り組みを進めていることを対外的に発信でき、自社のブランディングやマーケティングの機会となっている。

#### Future: 商品のバリエーションも広めながら、ユーザーとの共感を育む

鉄道ファンのコミュニティともコミュニケーションをとりながら、新たな部材を利用した商品開発など、一般消費者向けの品揃えに注力し、Osaka Metroへの愛着を醸成していきたい。

斬新なアイデアと確かな技術力、商品に込めたメッセージの掛け合わせにより、 新しい「価値」をデザイン

#### Find VALUE ~みつける~

『愛された車両たちをこれからも愛されるカタチに』をコンセプトに取り組まれる、ものづくり事業者、クリエイターとの共創事業。クリエイターの発想で、廃車の部材や素材のなかから新しい価値を見出し、今のライフスタイルにあった商品へとリメイク。当初はクリエイターが実物を見ながらアイデアを膨らませられるよう、車両工場の見学会なども開催した。

#### Create VALUE ~つくる~

クリエイティブパートナーが提案したものを実現するのが生産事業者、そこにOsaka Metroが加わり三位一体となってユーザー向けに新しい価値を創出している。ものづくりに参画するのは、いずれも大阪を中心とした高い技術力を有するものづくり企業。クリエイターのアイデアをもとに、素敵な商品へと生まれ変わらせている。

#### Share VALUE ~つたえる~

思いを届けるブランディングサイトと商品を販売するECサイト。この2つを使いながらお客さまに情報という価値とモノという価値、その両方を届けている。







(「Osaka Metroクリエイト」ブランディングサイト)

(2024年1月の新商品)

#### Player

大阪市高速電気軌道株式会社 (Osaka Metro)

大阪を中心とした クリエイターとものづくり事業者 Osaka Metroクリエイトを推進し、大阪のものづくり事業者を応援しながら、生産者とクリエイターを結ぶ。

クリエイターのアイデアと、多種多様な匠の力を有する大阪の ものづくり事業者。そのコラボレーションによって新たな商品 と情報の価値を生み出す。

**-** 10

# Recycling Meets Design® Project





# 『デザインの力』で、 再生プラスチックを活かしたい。

#### Features : 用途が限定されている再生プラスチックのリサイクル促進を目指す

再生プラスチック活用の促進を図るとともに、その価値を高めるデザイナーとの共創プロジェクト「Recycling Meets Design® Project」。

プラスチックパッケージからの「容器包装リサイクルプラスチック」に関する課題解決と価値創出、用途開発に向けて、デザイナー、リサイクラー、エンジニアなど、多様な知識・経験を持つ専門家が知恵・アイデアを出し合い、互いの強みを掛け合わせていく取り組み。各期半年間にわたって議論を重ねながら、アイデア・ストーリーを成果としてプレゼンテーション。これまで3期にわたって展開されている。

#### Innovation: 既成概念にとらわれない新たなアイデアとストーリーの創造

第2期で提案された、フラットに循環するアメニティ 「RETTER (リター)」は、はがきサイズの薄い板を切り 離し、組み立てて使うホテルアメニティ。

使用後はホテルのフロントに構えたシュレッダーで粉砕 し、再び回収する。既成概念にとらわれない、新たな用途 とライフスタイルの提案がいくつも生まれている。



#### Future: 社会実装に向けた共創パートナーの開拓

再生プラスチックの「社会実装」に関するアイデアの実現を目指すパートナーを募り、 再生プラスチックの価値創出と用途拡大および循環型社会の実現を目指す。 持続可能な社会の実現に向けて、「デザインの力」で 容器包装リサイクルプラスチックが多く使われる社会へ。

#### Find VALUE ~みつける~

プラスチックパッケージからの「容器包装リサイクルプラスチック」に関する課題解決と価値創出、用途開発に向けて、デザイナー、リサイクラー、エンジニアなど、多様な知識・経験を持つ専門家が知恵・アイデアを出し合い、互いの強みを掛け合わせていく「Recycling Meets Design Project」。DNPでは、ワークショップやリサイクル現場の見学会といった学びの機会をコーディネイトするとともに、アイデアのブラッシュアップのためのディスカッションを重ねていく。

#### Create VALUE ~つくる~

リサイクラー・アドバイザーからの再生プラスチックの技術・加工に関する知見の共有 や技術協力、アドバイスを受けるといった学びの場から具現化につなげている。

#### Share VALUE ~つたえる~

再生プラスチックの「社会実装」に向けて「ハンガー」をテーマに展開された第3期の成果を中心に。これまでに得られた再生プラスチックの技術的なトライアル結果やマテリアルリサイクルに関する学び、デザインアイデアから活用ストーリーなどを広く紹介し社会に訴求するための企画展「Recycling Meets Design展」を開催している。



(RMDプロジェクト、ワークショップの様子)



(第3期のハンガーをテーマにしたプロダクトイメージ)

#### Player

大日本印刷株式会社 (DNP)

環境課題解決に向けたプロジェクトの推進、広報活動・ブラン ディングを担う。

株式会社GTDI

DNPとともに、Recycling Meets Design Projecのプロジェクトオーナーとして活動

株式会社GKグラフィックス

**—** 12

#### 環境に配慮した取り組みRideeco



世界へ発信 モリトのサステナブルな挑戦



#### Features: 廃漁網から身近な製品への再生へ

廃漁網を回収し、身近な製品に再生することで、海洋汚染問題の改善に取り組むプロジェクト。リファインバースグループが全国の漁師から廃棄予定の漁網を回収し、ペレット化した後、モリトでは、紐止め、ボタンなどのアパレル付属品、生地への製品化に取り組む。そうして生まれ変わったバーツや生地は、鞄やペンケース等、新しい商品に生まれ変わっている。

#### Innovation : 取り組みや、取り組みにかける想いの広がり、廃漁網の確保が急務に

この取り組みや、取り組みにかける想いが少しずつ広がり、注文や問い合わせが増えている。あまりに反響が良いため、全ての注文を受けると、今後原料となる廃漁網が足りなくなる可能性もある。

現在再生している廃漁網はナイロン由来のため、ナイロン由来の漁網を使用していて、 目つプロジェクトの趣旨に賛同してくれる漁港の開拓が必要となっている。

#### Future : 漁網は「再生するもの」という考えの広がりを目指す

将来的には、漁網業界全体で、漁網は廃棄するものではなく「使うもの/再生するもの」であるという認識が広がっていくよう活動を広げていきたい。そうした認識が広がれば、さらなる循環につながる。またアパレルにおける地産地消の試みは難しいが、そうした試みも目指している。

「海洋汚染問題の改善に取り組む」という想いに賛同する、 様々なプレイヤーとともに実現する共創プロジェクト

#### Find VALUE ~みつける~

日本に漂着するプラスチックごみの総重量の内、約40%が漁網、ロープ。漁網は使用後、産業廃棄物となるが、その重さゆえに、廃棄コストが非常に高く、漁師の経済的負担になっている。そうした問題にモリトとリファインバースグループが着目。それぞれ自社の技術を活用して、廃漁網を使ったアパレルのパーツ、生地を作ることで意気投合した。

#### Create VALUE ~つくる~

回収した廃漁網には海藻や貝殻等様々な不純物が付着していたり、針が付いていたりする。こうした不純物をきれいに取るために、手作業が必要となる。大学のボランティアサークルの方、ダイバー向け講習やライセンスを発行するPADIの方々など、様々な方の協力のもと、除去作業を行っている。

#### Share VALUE ~つたえる~

モリトグループが進めるサステナブルな取り組み「Rideeco(リデコ)」のプロジェクトの1つに「Rideeco School」がある。SDGsの重要性と関連活動について広く知識を共有する出前授業を開催することで、サステナブルな取り組みの具体的な活動を伝えている。



(回収された廃漁網から不純物を取り除く様子)



(Rideeco school開催の様子)

#### Player

モリト(株)・モリトアパレル(株) 廃漁網からできたペレットからアパレル付属品、生地等への製品化

リファインバース株式会社 廃漁網のペレット化

全国の漁業協同組合、漁港、漁網メーカー 原材料となる廃漁網の供給

三井物産ケミカル(株) 異物除去作業のコーディネーション

静岡県漁業協同組合連合会 廃漁網回収に向けた漁協・漁業者への協力依頼

グローブライド (株) リサイクル資材を使用した商品の販売、異物除去作業へ参加

(株) カタログハウス リサイクル資材を使用した商品の販売、異物除去作業へ参加

(株) パディ・アジア・パシフィック・ジャパン 異物除去イベント主催、リサイクル商品の採用

\_ 1/I

15.

#### 医薬品包装「PTPシート」のマテリアルリサイクル







PTP剥離装置(協力会社設置)



剥離したプラスチック



剥離したアルミ箔

# Features : 協力会社と相互補完しながら、廃棄 PTP のマテリアルリサイクルの仕組みを構築

株式会社カナエでは、国内で医薬品包装として広く使用されているPTP(Press Through Package:成形材PVCやPPにアルミ箔をヒートシールしたもの)包装のマテリアルリサクル 実現に向けて取り組んでいる。包装の機械調整時や錠剤の未供給により、中身の薬が入っていない包装、製造工程で出る抜きカスなどの廃棄PTPシートを回収。PTPリサイクル事業では、PTP剥離装置に投入することでアルミ箔とプラスチックに分離し、それぞれマテリアルリサイクル処理を行う流れ。カナエがもつ、これまでの医薬品業界との深いつながりをいかし協力会社と相互に補完しながら回収、リサイクルの仕組みを構築している。

#### Innovation: コストを超えた環境配慮への理解を促す

自社での取組みを通じて、廃棄PTP包装のマテリアルリサイクルを普及するにあたっての課題(処理費用や輸送費用等のトータルコスト)も明らかになってきた。購入先である製薬メーカーに対して、自社が経験した内容を説明し、その採用を働きかけている段階にある。関心を持つ企業も徐々にではじめており、全体的なコストアップを認める企業、リサイクルの社会的な価値を認めてもらえる方々を増やしていきたい。

#### Future: 成功事例を創出し、リサイクルの市場への浸透につなげる

顧客の理解を得ながら市場への浸透を図るとともに、関連技術の開発・応用へつなげていければと考えている。まずは、成功事例を創出し、協力会社とともに、全国展開していければと考えている。

顧客(製薬メーカー)の価値向上につながるマテリアルリサイクル。事業課題に対する多面的な解決策を提示しながら、PTPリサイクルの普及を目指したい。

#### Find VALUE ~みつける~

包装資材は、素材メーカーを含め500社以上の協力工場から調達し、顧客にあった素材の開発や提供を行っている。カナエの主要取引先である製薬メーカーに対して、新たな価値提案につながるよう、リサイクル技術を探索し、PTPシートのマテリアルリサイクルに取り組んだ。

#### Create VALUE ~つくる~

PTPリサイクル事業は、中間処理業者で剥離作業を行うオリックス環境株式会社(東京都)、剥離機を開発した大同樹脂株式会社(長野県)が協力会社となって取り組んでいる。アルミ箔は再びアルミニウムとしてリサイクル、プラスチックはカーペットや建築材料としてリサイクルされる。

#### Share VALUE ~つたえる~

製薬メーカーに対しては、資源循環という切り口だけでなく、脱炭素が社会的なテーマになる中で、廃棄物処理に係る $CO_2$ の排出削減にも効果的といった提案も有効であり、訴求力を有している。各社が抱える事業課題に対し多面的な解決策を示していければと考えている。



(栃木工場での廃PTP出荷の様子)



(第25回インターフェックスジャパンでの展示の様子)

#### Player

株式会社カナエ

医薬品業界を中心に包装資材を開発・提供。顧客のニーズに沿った資材を多様な取引先から調達するほか、受託加工なるにでは、

を通じて提供している。

大同樹脂株式会社 PTP剥離装置(特許取得済)を開発。マテリアルリサイクルと

して別商品の材料として再生。

オリックス環境株式会社 廃棄PTP包装の中間処理業者。PTP剥離装置を設置し剥離処理

を行う。

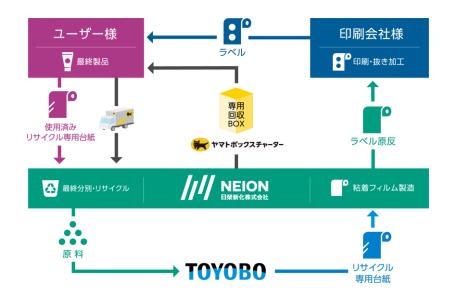
製薬メーカー 環境配慮に対する理解を背景に、PTP包装を購入する製薬メー

カー。



# 品質、コスト、環境価値提供を達成する資源循環プロジェクト

#### ラベル台紙の水平リサイクル「資源循環プロジェクト」



#### Features: ラベル台紙の循環型リサイクルスキームの確立

ラベルが様々な製品に貼られる直前まで使用されている「ラベル台紙」。ラベル台紙は、紙の表面にシリコーンやポリエチレン等の樹脂がコーティングされているため、紙と樹脂が分離できずリサイクルが難しい状況であった。

そうした中、本プロジェクトでは、マテリアルリサイクル可能な素材で設計された「リサイクル専用台紙」にラベル台紙を置き換え、資源循環に取り組む。業界を超えた企業が協力して、使用済みの「リサイクル専用台紙」をユーザーから回収し、再び、「リサイクル専用台紙」の原料に戻す「循環型リサイクルスキーム」が確立した。「リサイクル専用台紙」で設計したラベルは、従来のラベルと同コスト帯での販売も可能となっている。

#### Innovation: 取組内容に共感する参加企業・活動地域の広がり

資源循環プロジェクトへの参加により、①産業廃棄物の削減、②CO2の排出量削減、③マテリアルリサイクル率の向上、④品質向上の4つのメリットがある。

周知活動や参加企業のメディア露出により、取組内容に共感する企業も増え始めている。 現在のところおよそ22社(2024年2月末時点)で参加。埼玉県や広島県などの自治体と連携 がスタートするなど、活動地域は広がりを見せている。

#### Future: 2025年、リサイクル可能なラベル台紙の量を月間32万㎡に。

2025年には、リサイクル可能なラベル台紙の量を月間32万㎡とすることを目標にしている。国内の製造業全体では月間1.16億㎡ものラベル台紙が燃焼・廃棄されているところ、少しずつ前進していきたい。

#### Find VALUE ~みつける~

資源循環に取り組む上で、苦労したポイントの1つに回収のプロセスがあった。回収コストも極力抑えたいという意向もあった。そうした中、ヤマト運輸グループが取り組む「JITBOX」に着目。JITBOXは全国各所に行き届いたサービスであり、本サービスを活用することで、円滑且つコスト面もクリアできる形で、回収できるスキームを構築できた。

#### Create VALUE ~つくる~

ものづくりの観点から、品質とコストについては、徹底的に議論した。アイデアが進んでいくと、後から修正することは非常に難しい。その点を意識・苦労しながら、プロジェクトを進めていった。品質とコストをクリアした上で、導入してもらえるよう「環境価値」の定量化にも取り組んだ。

#### Share VALUE ~つたえる~

「資源循環プロジェクト」は、アライアンスを締結する6社(日榮新化、東洋紡、シオノギファーマ、トッパンインフォメディア、三井物産ケミカル、ヤマトボックスチャーター)が共同運営している。定期的にミーティングを行いながら、世の中に広める仕組み・活動も続けている。



(回収したリサイクル専用台紙)

(回収で使用するJITBOX)

#### Player

日榮新化(株) 粘着フィルム製造、マテリアルリサイクル

東洋紡 (株) リサイクル専用台紙の設計・製造

シオノギファーマ (株) リサイクル専用台紙の活用

(株) トッパンインフォメディア ラベル製造・印刷

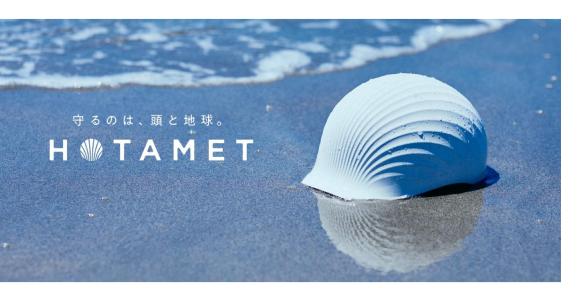
三井物産ケミカル(株) CO2排出削減量の算出

ヤマトボックスチャーター (株) リサイクル専用台紙の回収

**-** 18

19 .

#### HOTAMET ホタテの殻から生まれたヘルメット



#### Features : 廃棄されていたホタテ貝殻をアップサイクルして生まれた 地球環境に優しいヘルメット

ホタテの貝殻から作られたバイオプラスチックを原材料とにすることで、CO2排出量を 最大36%削減した、地球環境に優しいヘルメット「HOTAMET」。ホタテの水揚げ量、日 本一を誇る猿払村で大量に廃棄されてきたホタテの貝殻をアップサイクルして生まれた。

甲子化学工業南原氏のSNSでの投稿をきっかけに協業がスタート。協業から1年あまりの スピードでプロジェクトを立ち上げ、クラウドファンディングを開始した。甲子化学工業 が育んだ設計力・試作力、社会的インパクトの創出を目指すTBWA HAKUHODO のクリ エイティビティの融合がプラスチック業界に大きな話題を呼んでいる。貝殻の様なフォル ムも印象的。

#### Innovation:「HOTAMET」。その「ものづくり」、「物語」に世界も注目。

新素材の「HOTAMET」は、防災・自転車用途の安全性の規格審査の結果を待って、販 売を本格化する予定。既に大手企業や団体、個人からも多くの予約注文を受けている。 世界の名だたる広告賞を受賞し、とりわけサーキュラーエコノミーに関心の高い海外か らの反響も大きく、国内外の大手メーカーからの引き合いも後を絶たない。

#### Future : 環境配慮の新素材を軸に、多分野への展開を目指す。

プラスチックに廃棄されたホタテの貝殻を混ぜるという、他社にはない甲子化学工業の 独自技術(カラスチック®)を磨き、そのオリジナリティを発信しつつ、プラスチックと廃 材を二軸とした、新商品、新分野での事業拡大を目指す。

『プラスチックの偏見をなくしたい』。その思いから素材開発に取組み、 プロダクトを通じて「物語」を世界へ発信する、共創プロジェクト。

#### Find VALUE ~みつける~

プラスチックが「悪者」のように見られること。その解消のために、素材、プロダクト を通じて発信したいと考えた。ホタテ貝殻の主成分が炭酸カルシウムであることに着目 し、廃棄ホタテ貝殻とプラスチックから、新素材「カラスチック®」を開発。貝殻本来の 役割である『外敵から身を守ること』に着眼し、人の安全を守るヘルメットを作れない か?と考えた。猿払村という地域の社会課題解決にも寄与する。

#### Create VALUE ~つくる~

甲子化学工業の「ものづくり」と、TBWA HAKUHODOが得意とする、どう伝えていく かの「ものがたり」が開発までのあいだ、同時並行で進めらたことが大きな成功要因。 中心的に動くコアメンバー間の世代の近さも相まって、密なコミュニケーションと共感 をベースにプロジェクトが進められた。

#### Share VALUE ~つたえる~

quantum 社のプロダクト・デザイン、TBWA HAKUHODO のコミュニケーション・デザ インなど、一流のクリエイティビティが集合。ユーザーや商流が意識されたプロモーシ ョン戦略が社会的にも大きなインパクトを生みだしている。



(猿払村内、堆積されているホタテ貝殻)



(今後、素材を活かしたプロダクトも展開予定)

#### Player

猿払村

甲子化学工業株式会社

原材料となる新素材カラスチックの開発、「HOTAMET」の企 画、開発、製造、販売を行う。

「HOTAMET」の原材料となる廃棄ホタテ殻を供給。

素材開発における助言

大阪大学大学院工学研究科 応用化学専攻 宇山研究室

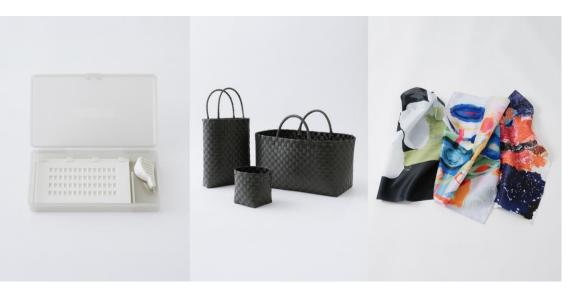
株式会社TBWA HAKUHODO

「HOTAMET」の共創パートナー。商品開発のアイデアだし、 プロモーションやコミュニケーションデザインから、ビジネス 面でのサポート。

株式会社quantum

貝殻から着想を得た「生物模倣(バイオミミクリー)」のプロ ダクトデザインを担当。

#### 「で、おわらせないPROJECT」



#### Features : 創造的再利用を目指す社会課題対応型のアップサイクルプログラム

オフィス等で使用されなくなったクリアファイルなどのプラスチック製品に着目、これらプラスチック製品を再資源化し、創造的再利用を目指す社会課題対応型のアップサイクルプログラム。非製造業や都市型の企業でも、日々の企業活動の中で、無理なく取り組める仕組みを目指す。第1弾では、名刺用凸面点字器「ten・ten」、第2弾では、再生PPバンドでつくる「loop+loop」、第3弾では、サステナブルフロシキ「HYAKU-YOU」と、現在は第3弾の取組まで進んでいる。

#### Innovation : 自分事として捉えてもらうための「体験設計」を重視

プロジェクトでは、自分自身もサーキュラーエコノミーの活動に参加していることが実感できるような仕組みが重要と捉え、体験の設計にも取り組んでいる。具体例として、第1弾で取り組んだ「ten・ten」の例がある。国内電通グループでは、アップサイクル製品として完成した点字器を活用した点字講習会を開催し、100名以上が参加した。開催後、参加した社員が、自身で点字を入れた名刺を活用するなど、自分事として捉える社員が増えた。

# Future:「で、おわらせないプロジェクト」のプラットフォーム拡大を目指す

今後も電通をはじめとした国内電通グループ各社及び、パンテック社など多様なパートナーとがタッグを組みながら、アップサイクルを目指す本プロジェクトの経験をもとに、サーキュラーエコノミーを他の企業でも取り組めるよう企画・提案していきたい。その中でプラットフォームを広げていくとともに共創のネットワークも構築していきたい。

# アップサイクルする上での課題に共創で向き合いながら 「環境負荷の低減」と「DEIへの貢献」の2つの価値を提供

#### Find VALUE ~みつける~

本プロジェクトでは、「環境負荷の低減」に加えて、「DEI(※)への貢献」の2つの価値を設計している点がユニークである。特に、「DEIへの貢献」は、企業からも注目されている視点である。本プロジェクト推進にあたり、障がいのある方の就業、雇用を促進する特例子会社電通そらりのメンバーも一緒に、クリアファイルの回収や分別を進めてきた。他にも、アセンブリー工程において障がいのある方の超短時間雇用を実践したり、デザインに知的障がいのある作家のアートを採用するなど取り組んできた。

#### Create VALUE ~つくる~

プラスチック分野のリサイクルに知見やネットワークがあるパンテック社協力のもと、国内電通グループ内で回収するクリアファイル、ペットボトル、防災用ヘルメット等から、何が作れるか、こういうものを作れないかと、共に試行錯誤してきた。100%再生材で作ることが難しい点、気を付けるべき事項等、密なコミュニケーションをとりながら実装に至っている。

#### Share VALUE ~つたえる~

グループの経営方針である「B2B2S(Business to Business to Society)」を体現するシンボリックなプロジェクトとして、アワードへの応募や社内向けにアップサイクルプロダクトを体験できるワークショップや講習会を開催したり、顧客に対して自社らしいノベルティとしてお渡しするなどしながら、取組内容の発信及びプラットフォームの普及を進めている。



REVOLE PRODET DEVELOPMENT DE

(オフィス等で使用されなくなったプラスチック類)

(「で、おわらせないPROJECT」プロセス概要)

#### Player

(株) 電通 プロジェクト、ブラットフォームの企画立案、アップサイクル 商品企画

(株) 電通プロモーションプラス アップサイクル商品企画

(株) 電通プロモーションエグゼ アップサイクル商品開発、進行管理

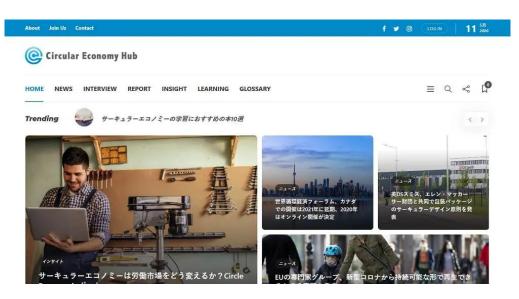
(株) 電通そらり 不要になる物品の回収及び分別

(株) 電通コーポレートワン 不要になる物品の事前の情報共有や管理

(株) パンテック 共創パートナー。プラスチックのリサイクルの観点から、商品 化実現をサポート。

※「DEI」は、「Diversity(ダイバーシティ、多様性)」「Equity(エクイティ、公平性)」「Inclusion(インクルージョン、包括性)」の頭文字からなる略称。

#### Circular Economy Hub



#### Features : サーキュラーエコノミーの最先端を知ることができるメディア・プラットフォーム

2020年に開設したサーキュラーエコノミー(CE)専門のメディア・プラットフォーム。 CEに特化した国内外ニュースや国内外現地編集部員によるレポートやインタビュー、独自 視点によるインサイト・オピニオンなど、CE移行に必要な情報提供などを行う。また、CE に関する有料コミュニティも展開しており、CEに関心のあるあらゆる業界から参画した会 員がSlack等を通じた情報交換やネットワーキングなどを進めている。

その他、蘭メタボリック社や米GreenBiz等とのコンテンツ連携による記事配信など、海外機関との連携にも力を入れる。Podcast「循環対話」やForbes Japanへの記事提供も実施。

#### Innovation: 企業や自治体向けにサーキュラーエコノミー移行支援サービスを提供

サーキュラーエコノミーへの移行を目指す企業や自治体、大学等向けに、サーキュラーエコノミー専門メディアの運営を通じて培った知見とネットワークを活かしたサーキュラーエコノミー移行支援サービスを提供。

#### Future: 各主体が連携しながらCE移行へ

今後、消費者も含めて、各ステークホルダーが連携し合いながらCE移行へ進めることが 必須となる。その際に、共創領域と競争領域をどのように棲み分けていくかという視点に 転換しながら、よりCE移行が進んでいくと考えられる。 サーキュラーエコノミーを「学ぶ」「つながる」「取り組む」ためのプラットフォーム。 トレンドに流されす、サーキュラーエコノミーの本質を伝える。

#### Find VALUE ~みつける~

Circular Economy Hubでは、CEを単なるトレンドとして捉えるのではなく、何のために CEに取り組むのか、その本質をどう伝えていくかという点を重視している。大量生産大量消費からの脱却、新たな社会システムをつくっていくツールとしてCEを位置づけ、情報発信と実践者同士のマッチング等を行う。

#### Create VALUE ~つくる~

「LEARN:学ぶ」「CONNECT:つながる(共創・マッチング)」「ACTION:取り組む(企業・自治体のサーキュラーエコノミー支援)」からなる、ToB向けの一連のコンテンツやサービス提供を通じて、各主体の行動変容も見据えながら企業や自治体等の事業開発につなげている。

#### Share VALUE ~つたえる~

母体であるハーチ株式会社は「IDEAS FOR GOOD」をはじめとして、9つのメディアを 運営。Circular Economy Hubに関しては、日本国内には CEに関する情報が当時は乏しく 国内外で情報ギャップが生まれていたことから専門メディアを立上げた。 CE実装に向け てCircular Economy Hubの情報価値を感じてもらい、記事をお読みいただいたり、コミュ ニティに参加していただいたりする流れが生まれている。



(「Circular X」で取り上げられたプラスチック)



(Podcast「循環対話」)

#### Player

ハーチ株式会社



インターネットやコンテンツの力を活かして社会がもっとよくなる仕組みが作りたいという想いを持つ仲間によって、2015年12月に創業。様々なパートナーの協力を得ながら、サステナビリティ・サーキュラーエコノミー・教育など幅広い分野でウェブメディアを介画・運営。

#### crQlr Awards



#### Features : サーキュラー・デザインを考えるコンソーシアム「crQlr」の取組の1つ

循環型経済に必要なサーキュラー・デザインを考えるコンソーシアム「crQlr」。crQlr Awardsは、crQlrの4つの取組(アワード、イベント、エキシビション、プロジェクト)の1つであり、ロフトワークと、世界中に拠点を持つクリエイティブコミュニティFabCafe Globalが開催する。循環型経済の実現に欠かせないサーキュラー・デザインを実践するためには、既存の産業における実践的なノウハウだけでなく、国内外の事例に触れて視野を広げ、起業家やアーティストなど幅広い分野のクリエイティビティを活用する総合力が必要という思いのもと、2021年にスタートした取組である。

#### Innovation : crQlr Awards開催後も継続する、交流・イノベーションきっかけの場の提供

集まったアイデアを評価して賞を決定し、終了する「直線的型の」デザインアワードとは異なり、crQlr Awardsは循環型のアワードを志向している。授賞式等、アワードに直接関係するイベントに限らず、応募者全員が参加できるネットワーキングイベント等も開催。こうしたイベントを開催し、新しい交流や、アイデアの改良ができる機会提供を目指している。

#### Future: 世界中のプレイヤー達の交流の場

デザインの力を通じて循環型経済の実現を目指す、世界中のプレイヤー達のための、交流の場を創り出す。コミュニティを通じて共通言語をつくり、炭素クレジットやデジタル・パスポートや、政府による新政策の準備などについて話し合い、国を超えたコラボレーションを実現する。

国内外の事例にも視野を広げることができる、 グローバル規模で開催されるアワード

#### Find VALUE ~みつける~

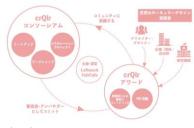
審査ポイントは「クリエイティブであるか?サーキュラーエコノミーへの洞察があるか? -For People」、「資源循環だけでなく、環境に対してポジティブな影響を与えられているか? -For Planet」、「循環型経済を目指す社会、企業の課題に対し、解決策を示しているか? -For Profit」の3つで、審査員個々の視点を反映し総合的な評価のもと選出される。

#### Create VALUE ~つくる~

審査員は、未来を作り出しているクリエイターや専門家を国内外から招聘している。 crQlr Awards終了後、主催するFabCafe Global とロフトワークは、審査員とともにフィードバックやイベントでのPR などを通してプロジェクトの活動のサポートを行う。

#### Share VALUE ~つたえる~

世界中に拠点を持つクリエイティブコミュニティFabCafe Globalのネットワークを活用しながら、英語での情報発信も行い、循環型経済の実現を目指す大規模なプロジェクトから計画中のアイデア、活動、アート作品などを集める。また、プロジェクトと審査員、プロジェクト同士のオープンコラボレーションを実現する。





(crQlr概要)

(crQlr Summit2023)

#### Player

株式会社ロフトワーク

クリエイティブコミュニティ FabCafe Global (※) crOlr Awardsの共同主催・共同運営

(※) FabCafeは2012年に東京・渋谷に誕生して以来、国内5拠点ほか、タイ、スペイン、フランス、メキシコ、マレーシアなど世界中に拠点を広げるクリエイティブコミュニティ。新しいものづくりを実践する多様なクリエイターとの共創を通じて、パートナーや社会の課題に取り組む。

**-** 26

27 **–** 

#### CIRCULAR DESIGN STUDIO.



# Features: サーキュラーエコノミーを軸とした行政向け事業と民間向け事業を展開

CIRCULAR DESIGN STUDIO. (CDS.) は、株式会社新東通信内にて発足した、サーキュラーエコノミーを起点に社会課題の解決に取り組む共創型プロジェクトチーム。現在、行政向け事業と民間向け事業がある。サーキュラーエコノミーをテーマとして、行政向けにはビジョンメイク、ロードマップ策定支援、コミュニティ形成支援を、民間向けにはワークショップやセミナー、教育プログラムなどを実施している。

#### Innovation: 多様な事業者を掛け合わせるオーケストレーションカ

メーカー、小売業、金融業、インフラ業、リサイクラー、クリエイターといった多様な 事業者が集まるカンファレンス等を開催。

カンファレンスでは、国内外のサーキュラーエコノミーに関わる有識者・実践者によるインプットだけではなく、各事業者が持つアセットをオーケストレーションし、その後のサーキュラーエコノミーのPoCや実装へとつなげている。

#### Future: サーキュラーシティづくりやプロジェクトファイナンスを目指す

サーキュラーエコノミーの実現を目指す事業者の支援を行い、その事業者が持つチカラをサーキュラーシティづくりへとつなげていきたい。それを他の地域でも展開していくことで地方活性化を促進、加えて、サーキュラーエコノミーを推進するプロジェクトファイナンスサービスの展開を目指したい。

「ワクワク」をキーワードに場づくりや取組の仕掛けを行い、ネットワークを広げる

#### Find VALUE ~みつける~

経済×環境を超えた、「ワクワクさせるイノベーティブ (非既視感)」と「ワクワクさせるクリエイティブ (かっこいい) | に着目し、「場 | の設定や取組を進めている。

#### Create VALUE ~つくる~

CDS.では、ネットワークづくりに非常に力を入れて取り組んでいる。ネットワークづくりにおいては、イベントによる力が大きいため、定期的にイベントを開催している。多くの人に参加いただけるよう、ワクワクするプログラム作りに積極的に取り組んでいる。

#### Share VALUE ~つたえる~

正しいことを正しくそのまま伝えるのではなく、おもしろそう、楽しそう、といったクリエイティブによる入口をつくることを大切にしている。その入口をつくることでサーキュラーエコノミーの裾野が広がっていくと考えている。



(サーキュラーエコノミーをテーマにしたワークショップ)



(廃棄スノーボードで作ったモニュメント)

#### Player

(株) 新東通信

事業の企画・運営

(一社) サーキュラーエコノミー・

立ち上げ期における事業推進のアドバイザー

ジャパン

- 28

#### MEGURU STATION®



#### Features : 互助共助コミュニティ型の資源回収ステーション

MEGURU STATION®は、住民が家庭ごみを資源として持ち込み、分別する「資源回収 機能|と、世代を超えた住民同士の交流や、子育て・見守り支援などの「コミュニティ醸 成機能」を併せ持つ、互助共助コミュニティ型の資源回収ステーションである。人口減少 や社会保障費増大などの地域課題、資源枯渇などの地球環境問題、サーキュラーエコノ ミーの実践や再生資源の調達など企業側の課題、これらの課題を統合的に解決する仕組み として設計された、アミタグループの提供サービスである。

2023年6月現在、兵庫県神戸市と福岡県大刀洗町の、2自治体6箇所で稼働している。 ※うち2箇所はMFGURUSTATION®のノウハウを活用し、アミタが立ち上げ支援を行った神戸市の「資源回収ステーション」を含む。

#### Innovation: 介護予防、外出のきっかけにも効果

大学機関との共同研究により、MEGURU STATION®を利用することで、一定の介護予 防効果があることも明らかとなっている。また、介護予防効果が生まれることで、介護費 用抑制にもつながるという推計も出ている。 (参考: https://www.amita-hd.co.jp/news/220610\_meguru.html)

引きこもりがちであった利用者からは「外出のきっかけとなった」という声も届いてい る。

#### Future: MEGURU PLATFORMの構築を目指して

2030年までに、MEGURU STATION®を全国に5万ヶ所に設置することを目指している。 そして、回収された資源を品質の高いサーキュラーマテリアル(循環資源)に加工、企業 等へ出荷するスマートファクトリー「MEGURU FACTORY」を47都道府県に設置し、人・ 自然・もの・情報のすべてがつながる「MEGURU PLATFORM」の構築を目指している。

行動の可視化で利用を促進、

さらなる資源回収と情報収集を目指すプロジェクト

#### Find VALUE ~みつける~

MEGURU STATION®設置を通して得られる「情報」にも着目している。容器等の資源 回収を通じて、その地域では、どのような商品が、どのくらい消費されているか、いつ 人がステーションに集まるかなど、資源情報だけでなく、個人を特定しない形で、地域 ニーズや人の行動を把握することが可能となっている。

#### Create VALUE ~つくる~

「自分ごとであること」が大切なポイントである。自身の行動が資源循環につながって いることを伝えるため、例えば住民が分別したプラスチックでベンチを作るなど、行動 を可視化できる取組を実施している。それが次の行動変容につながり、当事者意識の醸 成につながっていく。

#### Share VALUE ~つたえる~

金融機関と連携し、MEGURU STATION®がもたらす社会的な効果の可視化(インパク ト評価)への取組も進めている。社会的影響を評価するための測定項目・手法を設計の 上、順次現場での測定・評価を進めている。





(資源の分別回収の様子)

(世代間交流の様子)

# Player

アミタ株式会社 プロジェクトの企画・運営、ハード・ソフトの提供

自治体関係者 プロジェクトの企画・実装、フィールドの提供

住民の皆様 資源の分別・持ち込み、

ステーションの自律的な運用・管理(袋交換など)

企業の皆様 資源循環やコミュニティづくりに関するノウハウや技術の提供

#### ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアム

#### コンソーシアムでの取組

兵庫県 SUSTAINABL DEVELOPMEN GOAL

■ <u>ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアムを展開中</u>

観光やスポーツ等、異分野の業種や市町、リサイクラー等と連携し、プラスチック資源循環促進方策の具現化に取り組んでいる コンソーシアムの **4** つのテーマ

#### プラスチックの使用削減などの促進

#### (Reduce)

- 城崎温泉旅館でのプラスチック使用削減・ 生分解性プラスチックの利用促進
- 城崎温泉旅館協同組合が主体となり、宿泊客にアメニティ グッズ持参を呼びかけ、城崎の街全体でプラスチック製品の 使用削減に向けた歌組を展開し、サステナブルツーリズムの 推進条図る
- ・宿泊客へアメニティグッズを提供する場合には、素材を生分 解性プラスチックへ転換

#### (Reduce · Reuse)

- イオン・テラサイクルジャパンでのLoopの取組を展開
  「Loop」を通じて、プラスチックごみを出さない新しいラ
- イフスタイルの普及を促進今後、店舗数や商品数の拡大を目指す

#### 《海洋プラスチック対策》

- カネカやダイセルなどの生分解性プラスチックの利用促進
- ・海洋ブラスチックごみ対策として生分解性ブラス チックへの置き換えを促進

#### 水平リサイクル等の促進

- 食品トレー・透明パック容器の店頭回収促進
- 小野市がスーパー及び包装材メーカー((株)エフビコ) と連携し、トレーの水平リサイクルの取相について普及啓発 を実施。今後、更なる資源循環の取組を目指す

#### 市町が回収する製品プラスチックの 効率的な資源循環

分別収集リサイクルスキームの構築

援事業」(R4年度)に採択】

 小野市、加西市、加東市と開が共同で、各市ごみ中のプラス チック資源岩在星を把握、リサイクルケース別のコスト・ CO,所述効果を検証 「環境省「プラスチック資源循環に関する先進的モデル形成支

#### 行動変容の促進

#### アシックスとの連携

- スポーツウェアの回収やブロギングイベントを実施、スポーツ ウェアを回収し新たなウェアヘリサイクルする取組を目指す
- ごみ拾いアプリ(ビリカ)の活用
- ごみ問題を自分事として捉えるきっかけとして、ごみ拾いイベントや身の回りのごみを拾った際などに「兵庫県版ビリカ」活用を呼びかけ

#### JTとの連携

- 豊かな海づくり大会の関連プレイベントとして明石市内沿岸でビ リカを活用した清掃活動を開催、「兵庫県版ビリカ」をお披露目
- 海洋プラスチックごみ問題を啓発するイベントの実施
- (公財) ひようご環境創造協会が、レジ袋の売上げにかかる高付を活用し、現色水水環や人と自然の博物館等で企画度を開催 兵庫限内の中高生を対象に、海ごみに関する環境学習や海岸清掃 活動を実施

#### Features : 4つのテーマを掲げた普及啓発的な支援

プラスチックの資源循環を促進するため、令和3年度に「プラスチック資源循環検討会」を設置し、兵庫県における現状と課題を整理し「持続可能な循環型社会の実現に向けたプラスチック資源循環の促進方策について」をとりまとめた。令和4年度からプラスチック資源循環を促進するため、観光やスポーツ等の異分野業種や市町、リサイクラーと連携し「ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアム」として「プラスチックの使用削減などの促進」「水平リサイクル等の促進」「市町が回収する製品プラスチックの効率的な資源循環」「行動変容の促進」の4つのテーマを掲げ、普及啓発的な支援を中心に展開している。

# Innovation : 資源循環型プラットフォーム「Loop」

イオンリテール株式会社とテラサイクルジャパン合同会社は、商品の容器を使い捨てせず、繰り返し使う『資源循環型プラットフォーム「Loop」』の取組を県内のイオン10店舗で推進。県では「Loop」を通じて、使い捨てせず「繰り返し使う」新しいライフスタイルを広げ、プラスチックの使用削減・再使用を拡大していくこととしている。

# Future: コンソーシアムの拡大に向けて

今後は、2030年「プラスチックの発生抑制・再使用・再生利用・リニューアブルの進展」、2050年「温室効果ガス排出量実質ゼロとプラスチック資源循環をともに実現」を目指した取組を強化。現在取り組んでいる内容の深化や、地域での取組の全県への横展開を進めるとともに、新規テーマの設定や連携主体の追加等、コンソーシアムの拡大を図りたい。

コンソーシアムへの参画メンバーの活動をつなぎ、県民に対して広く普及啓発を 行うことで、環境意識を高め、資源循環につながる行動変容を促す。

#### Find VALUE ~みつける~

城崎温泉旅館協同組合が主体となり、令和4年10月から宿泊客にアメニティグッズ持参を呼びかけ、今後、城崎の街全体でプラスチック製品の使用削減に向けた取組を展開。サステナブルツーリズムの推進を図る。宿泊客へアメニティグッズを提供する場合には素材を生分解性プラスチックへ転換。城崎温泉の新たなブランディングに寄与している。

#### Create VALUE ~つくる~

「Loop」は、従来使い捨て容器で販売されていた製品をリユース可能な容器(ガラス・ステンレス等)で販売し、使用済み容器を回収して、洗浄・製品の再充填を行い、再び販売する循環型ショッピングプラットフォーム。世界3カ国(アメリカ・フランス・日本)で運用中で、県内イオン8店舗で導入され、記念イベントを開催した。プラスチックごみを出さない新しいライフスタイルの普及を促進し、今後、導入店舗数や商品数の拡大を目指す。

#### Share VALUE ~つたえる~

JT(日本たばこ産業株式会社)は、社会貢献活動「Rethink PROJECT」の一環として明石市望海浜で地元のNPO法人おーえんくらぶ等と海岸清掃活動"ひろえば街が好きになる運動"の様子を、株式会社ピリカが提供するごみ拾いSNSアプリ「ピリカ」により「見える化」。さらに身の回りのごみを拾った際に投稿されたデータが兵庫県の地図上に示されるウェブサイト『クリーンアップひょうご』を作成している。ごみの散乱状況についての「気づき」を通じて、ごみ問題を「自分事」としてとらえ、ごみ減量やリサイクルなどに関する各主体の行動変容が促進するよう取り組みを進めている。







(イオンでのLoop 記念イベント) (クリーンアップひょうご)

#### \_\_\_\_\_

兵庫県 環境部 環境整備課

Player

「水平リサイクル等の促進」「市町が回収する製品プラスチックの効率的な資源循環」では県内自治体等と連携し、取組みを 推進している。

#### 亀岡市の取組から生まれたHOZUBAG Project



#### Features: 「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を基軸とした亀岡市の取組

2018年12月、亀岡市と市議会が連名で「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を行った。その背景は、2004年頃から、保津川下りの船頭の方々が保津川渓谷の自然景観に影響を与えるペットボトルやレジ袋、発泡スチロールなど、流域に漂着するプラスチックごみの清掃活動に取り組んだことから始まる。その後、その取組は流域の関係者や国内外のNPOやNGO関係者に広がり、2012年には内陸部の自治体で初となる海ごみサミット2012亀岡保津川会議が開催された。

「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」のもと、2030年までにプラスチックごみゼロを目指すとともに、地域経済の活性化に取り組んでいる。同宣言をきっかけに、「かめおか霧の芸術祭」と連携する形で、HOZUBAGの取組の前身となる、亀岡市の環境政策の一環「KAMEOKA FLY BAG Project」が立ち上がった。

#### Innovation: 「かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定」による事業者との共創

亀岡市では、SDGsで掲げる「環境、経済、社会の三側面の統合的取組の推進」というビジョンのもと、「かめおか未来づくり環境パートナーシップ協定」という市独自の枠組みで様々な企業・団体と締結することで、ビジョンに共感した事業者とともに、地域資源を活用した新たな価値の創出による持続可能なまちづくりに向けて取り組んでいる。

#### Future : 世界に誇れる環境先進都市を目指して

HOZUBAGのように、事業者とともに地域資源を活かした新たな価値創出の取組を通じて、亀岡市のブランド力向上とシビックプライドの醸成を未来像として描いている。経済的価値のみならず、豊かで美しい自然や社会的価値を次世代に引き継ぐため、世界に誇れる環境先進都市を目指し、今後も賛同する事業者の方々と連携強化を図っていく。

#### **HOZUBAG** Project

#### Find VALUE ~みつける~

「かめおか霧の芸術祭」など文化・芸術(デザイン)の力で、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を市民に自分事として訴求できないか、という市の想い。バラグライダーに使われる生地は、厳しい安全基準により使用不可となった場合、産業廃棄物として処分されるか、保管するしかなく何とかできないかという現場の想い。両者の想いから、バラグライダーの生地をエコバッグにした啓蒙イベントが、かめおか霧の芸術祭の一環で始動した。

#### Create VALUE ~つくる~

役目を終えたパラグライダーを集めて、生地を解体。その生地をミシンで縫い合わせて、1枚の大きな「FLYBAG」を完成させた。亀岡駅前にクレーンで吊ってオブジェとして展示した後、参加者が好きな部分を切り取って、縫製し、オリジナルのエコバッグをつくるワークショップを開催した。大きな反響を呼び、亀岡市を代表する商品として展開していくこととなった。

一過性のイベントにしたくないという想いのもと、亀岡市と芸術祭メンバーがともに製造拠点を立ち上げ、FLYBAGから名称が変わり、HOZUBAGの取組が始まった。

現在では、国内のパラグライダー教室と連携して、亀岡市内にある拠点HOZUBAGMfg. にてパラグライダーを回収、裁断、縫製した後、バッグとして再生している。

#### Share VALUE ~つたえる~

エコバッグとしての機能性だけでなく、商品として生活者の琴線に触れるようなデザイン性を意識。 現状、バラグライダーの本体生地のみをHOZUBAGの素材として使用しているが、他の付属品もたくさ ん届いているところ、今後商品ラインナップを増やしていきたい。

役目を終えたパラグライダーは、1つ1つ状態が異なる。新品の生地はしわはないため、100枚重ねてもずれることなく裁断できるが、使用された生地は、1点ずつ調整しながら裁断が必要となるため、どうしてもコストが嵩む。こうした価格設定や生産の背景についても、知ってもらうためのワークショップ等を行っていきたいという想いがある。





(HOZUBAG)

(HOZUBAG製作の様子)

#### Player

(株) HOZUBAG 商品企画・デザイン・HOZUBAG製品化(生地解体裁断・縫製)

(株)シアタープロダクツ 商品企画・デザイン・HOZUBAG製品化 ※ (株) HOZUBAG立上げ前

一般社団法人きりぶえ 工場整備・生地解体裁断・縫製・ワークショップ企画運営

※(株)HOZUBAG立上げ前

全国のパラグライダー教室 原材料となるパラグライダーの供給

亀岡市 製造拠点整備支援、その他各種支援

かめおか霧の芸術祭実行委員会 KAMEOKA FLYBAG Projectの企画・運営

34

# 04 プレイベント「Rethink Designers Meetup ~価値共創から紡ぐサーキュラーエコノミーの輪~」

サーキュラーエコノミー (CE) とは、廃棄を出さない仕組みづくりであり、その本質は、新たな価値として資源を循環させることである。

新たな価値循環の実現には、個社のリソースだけでは経済合理性を担保できず、資源循環における「動静脈連携」を基軸とした価値共創が必須である。

共創を継続していくうえで、「ものづくり」と「ものがたり」による価値を統合的にデザインするプレイヤー「Rethink Designer」が鍵だと考え、互いの想いに触れ合い今後のアクションの接点づくりとすべく、本イベントを企画し、開催した。

当日のプログラムは3部構成で開催。SESSION 1 では、主催者である近畿経済産業局からの挨拶の後、経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課の吉川課長補佐より、「サーキュラーエコノミーに関する産官学パートナーシップに込めた想い」について講演。続くSESSION 2 では、それぞれのRethink Designerから8つの事例について紹介いただいた。SESSION 3 では、事務局からリサーチのインサイト紹介と製品展示・参加者同士の交流会を開催した。

当日は、18の企業・行政、計37名の方に参加いただいたキックオフの場となった。



(開催概要)



(主催者あいさつ)



PD CHF 格式会社费用国工家所

(参加者同士の交流会の様子)

















(Rethink Designerによる事例紹介の様子)

26

#### Rethink Designers Meetup 参加者プロフィール

# 登壇者





YOSHIKAWA Yasuhiro

経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課 課長補佐(総括)

産官学のパートナーシップ「サーキュラ ーパートナーズ」

自分事として自分の生きる社会のデザ インを考える。みんなの想いを繋ぐ。 Leave No One Behind.

# 東垣 芳昌

地域デザインチーム

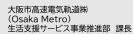


MEGURU System開発

人の思いと資源が循環する仕組みを つくる!

#### 坂東 優樹

BANDO Masaki

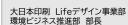


Osaka Metroクリエイト 「廃車再生プロジェクト」

ものづくりで、大阪をもっとワクワク する街に!

#### 加戸卓

KADO Takashi



Recycling Meets Design®Project

「デザインの力」で再生プラスチックを 活かしたい

#### 竹原 朗

TAKEHARA Akira

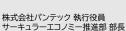


Recycling Meets

Design®Project 「デザインの力」で再生プラスチックを 活かしたい

# 黒木 洋平

KUROKI Yohei



Rethink Design

「で、おわらせないPROJECT」、 Filmateなど

「環プラ」を共創(Co-Creation)しま しょう。

# 鷲尾 貴子

WASHIO Takako



大阪市高速電気軌道㈱ (Osaka Metro) 生活支援サービス事業推進部 係長

Osaka Metroクリエイト 「廃車再生プロジェクト」

廃車部品で大阪から元気を創りつづ けます!

#### 南原 徹也

NAMBARA Tetsuya



(株)甲子化学工業 大阪·関西万博 運営参加 (ヘルメット)サプライヤー 企画開発部

HOTAMET / SHELLTEC

プラスチックを悪と決めつけるのでは なく、共存できる社会を実現したい。

#### 橋本 恭輔

HASHIMOTO Kyosuke



(株)TBWA HAKUHODO Disruption Lab PR Planner

HOTAMET / SHELLTEC

日本に埋もれてしまっている可能性 のある技術を、PRのチカラで世界に 広めていきたい。

#### 大野 賢

ONO Satoshi



株式会社パンテック マーケティング部 部長

「で、おわらせないPROJECT」、 Filmateなど

近畿から世界に誇れる「環プラ」を

#### 住田 康年

SUMIDA Yasutoshi



(株)電通 サステナビリティコンサルティング室

「で、おわらせないPROJECT」

サーキュラー・エコノミーに「デザイン」

#### 堀田 峰布子

HOTTA Mihoko



(株)電通 サステナビリティコンサルティング室

「で、おわらせないPROJECT」

サーキュラー・エコノミーに「マーケテ ィング」を!

# 圭佑

HOSONOME Keisuke



渋谷ブレンドグループ 代表 日本GXグループ.CEKAI.リクルート. ReBlend Plastics 宮崎大学准教授

日本カーボンクレジット取引所,GX総合研究 所,再生複合プラスチック,ゼロカーボンパッシ

CEに必要な事業は渋谷ブレンドのグループ 会社としてすぐにスピンアウト創業しますので お声がけください!

#### 山下 史哲

YAMASHITA Fumiaki



株式会社新東通信 CIRCULAR

DESIGN STUDIO. スタジオ長 サーキュラーエコノミーによる街づく

同志×多様性×場で、 皆さんとサーキュラーシティを実現し

#### 大内 良洋

**OHUCHI** Yoshihiro



モリトアパレル株式会社 マテリアルデザイン事業部 部長

Rideeco (モリトグループの環境に配慮したプ ロジェクト)

廃漁網を活用した商品の企画・開発・ 循環に取り組んでいます



モリト株式会社 事業戦略本部

Rideeco (モリトグループの環境に配慮したプ ロジェクト)

繰り返し循環させることができるものづ くりをしていきたいと思います。

藤原 まゆみ FUJIWARA Mayumi

#### Rethink Designers Meetup 参加者プロフィール

# ヒアリング関係者・KIZASHI企業等



#### 山内

YAMAUCHI Tsuyoshi



#### 亀岡市環境先進都市推進部長

プラごみ0・ゼロエミッション・カーボ ンニュートラル トリプル「0」プロジェ

環境先進都市・亀岡市のブランディン

# 曽我部 育





亀岡市 環境先進都市推進部 資源循環推進課 主幹

ごみ減量と資源循環の推進

資源循環と地域経済活性化の両立を 目指す!!

#### 名倉 真也 NAGURA Shinya



亀岡市 環境先進都市推進部 環境政策課副課長 兼 環境保全係長

プラごみゼロチャレンジ

世界に誇れる環境先進都市をめざす!

#### 吉川 利幸



(株)吉川国工業所 代表取締役 (KIZASHI企業)

環境に優しい、より持続可能な材料と 技術の開発に取組み、高品質で長く使 える製品を皆様にご紹介、循環するプ ラスチックの必要性を訴えていきたい。

嶋田 勤



(株)吉川国工業所 新規事業開発課 課長(KIZASHI企業)

セルロース複合樹脂で「脱炭素社会」 を目指し、温室効果ガス削減に向け、 日用家庭用品業界の先駆けとなり、当 社の企業価値向上を図りたい。

#### 坂倉 孝雄





大手前大学 (春からは)現代社会学部 准教授

兵庫県北摂エリアを拠点に食品ロス循 環プロジェクトwithH2O社稼働中。 学生とのコラボ案件募集中!

# 梅田 宏行

UMETA Hiroyuki



株式会社カナエ 取締役 開発本部長

廃PTPのマテリアルリサイクル

包装材料の販売企業として、お客様の 工場から排出される廃プラをマテリア ルリサイクルして廃棄物削減に取り組 んでいます。

#### 久保 昇平

KUBO Shohei



関西巻取箔工業株式会社 取締役COO (KANMAKI)

顔料箔 - 脱炭素時代の印刷塗装ソリ ューション-

西陣織の金糸をルーツに持つ「顔料箔」 を"一周回って新しい"ソリューションと して広めたい!

#### 内田 栄時





有限会社ウチダプラスチック 代表取締役 (KIZASHI企業)

皆さんの取り組みなど勉強できれば と考えております

※オンライン参加

#### 森 雅人





(株)サンテレビジョン 事業部

自社の海洋ごみ問題の取組みなど、 情報交換したい。

#### 安江 竜大





近畿経済産業局 環境·資源循環経済 課 調査係長/ 地域経済産業調査員

Rethink Designers Project

CEを自分事に、あこがれるのをやめ ましょう

#### 久保 直嗣

KUBO Tadashi



AC Biode(株) 代表取締役社長 (KIZASHI企業)

空気中からCO2を吸着、固形化し、ガ ラスやセメント等にリサイクルする技 術と設備を販売しています(レブセル と協業)

※オンライン参加

#### 芝原 茂樹

SHIBAHARA Shigeki



(株)近江物産 代表取締役会長 (KIZASHI企業)

循環資源への転換 時代は"サステナ ブル・プラスチック"へ

# 【Meetup参加者の声(アンケート結果から抜粋)】

Meetup参加者のアンケート回答結果から、学びになった内容として、「他社の取組・苦労」や 「CEの各事例における『生の声』が聞けたこと」が挙げられた。

また、「他社の取組でも同様の悩みに直面している。他社と連携することで、解決できることも あるのではないか」といった気付きも挙げられていた。

今後の展開に向けて、「今回のような事例の紹介という枠を超えて、日本ならではの『CEビジ ネス』の成功事例などのシェアがされていくと、更に興味深い。」、

「今後もネットワークの輪が広がっていくことを期待する」といった期待も寄せられている。

# 本調査でお世話になった企業・団体・自治体の皆様

| 企業·団体·自治体名        | 所在地     | URL                               | 企業·団体·自治体名                | 所在地     | URL                                |
|-------------------|---------|-----------------------------------|---------------------------|---------|------------------------------------|
| アイフォースリー合同会社      | 大阪府大阪市  | https://eyeforthree.com/          | 一般社団法人 豊岡鞄協会/<br>兵庫県鞄工業組合 | 兵庫県豊岡市  | https://bag.or.jp/                 |
| アミタホールディングス株式会社   | 京都府京都市  | https://www.amita-hd.co.jp/       | 南海電気鉄道株式会社                | 大阪府大阪市  | https://www.nankai.co.jp/          |
| 株式会社池田泉州銀行        | 大阪府大阪市  | https://www.sihd-bk.jp/           | 日榮新化株式会社                  | 大阪府東大阪市 | https://www.neion.co.jp/           |
| 大阪市高速電気軌道株式会社     | 大阪府大阪市  | https://www.osakametro.co.jp/     | 日本たばこ産業株式会社               | 東京都港区   | https://www.jti.co.jp/index.html   |
| 株式会社カナエ           | 大阪府大阪市  | https://www.kk-kanae.jp/          | ハーチ株式会社                   | 東京都中央区  | https://cehub.jp/                  |
| 関西巻取箔工業株式会社       | 京都府京都市  | https://www.kanmaki-foil.com/     | 株式会社パンテック                 | 滋賀県大津市  | https://www.pantechco.jp/          |
| 甲子化学工業株式会社        | 大阪府大阪市  | https://koushi-chem.co.jp/        | fabula株式会社                | 東京都大田区  | https://fabulajp.com/              |
| 渋谷ブレンド株式会社        | 東京都渋谷区  | https://shibuyablend.com/         | 株式会社HOZUBAG               | 京都府亀岡市  | -                                  |
| 株式会社新東通信          | 愛知県名古屋市 | https://www.shinto-tsushin.co.jp/ | モリト株式会社                   | 大阪府大阪市  | https://www.morito.co.jp/          |
| 大日本印刷株式会社         | 東京都新宿区  | https://www.dnp.co.jp/            | 株式会社ロフトワーク                | 東京都渋谷区  | https://loftwork.com/jp/           |
| 株式会社TBWA HAKUHODO | 東京都港区   | https://www.tbwahakuhodo.co.jp/   | 亀岡市                       | 京都府亀岡市  | https://www.city.kameoka.kyoto.jp/ |
| テラサイクルジャパン合同会社    | 神奈川県横浜市 | http://terracycle.co.jp           | 兵庫県                       | 兵庫県神戸市  | https://web.pref.hyogo.lg.jp/      |
| 株式会社電通グループ        | 東京都港区   | https://www.group.dentsu.com/jp/  |                           |         |                                    |

**-** 42 43 **-**

# 世の中はまわる、

たとえば

漂着したペットボトルを見て、

単なるゴミと思うのか、

有効な資源と思うのか

視点を変えれば、

世の中の見え方は変わってきます。

当たり前だと思っていたことでも、

違う視点から捉えてみると、

新しい発見があることがあります。

Rethink Designers Meetup坻、

互いの価値の見つけ方、つくり方、

伝え方に触れることで、

今後のアクションのきっかけを見つける場です。

視点を変えれば、世の中がまわる。

地域がまわる。

未来を変える発見は、意外と身近に

あるのかもしれません。

